

琉球弧の祭祀と行事【五】

八重山諸島・宮古諸島編 写真・文／木原盛夫



琉球弧の祭祀と行事【五】

八重山諸島・宮古諸島編 写真・文／本原盛夫

CONTENTS

- 鳩間島の豊年祭・・・3P
石垣島・白保の豊年祭・・・23P
竹富島の豊年祭・・・34P
石垣島・四カ字の豊年祭・・・57P
黒島の豊年祭・・・70P
石垣島・四カ字のアンガマ・・・81P
登野城のイタシキバラとアンガマトゥズミ
・・・101P
ミヤークツツ・・・108P



【鳩間島の豊年祭】 2013年7月20日、21日撮影

五穀豊穣を願う豊年祭だが、八重山では2日間に渡って行われる。1日目はオンブールで、オン（御嶽）での神事が中心に、2日目はムラブールで奉納芸能が中心のようだ。

オンブールの7月20日、島最高の聖地である友利御嶽に氏子の方々が道歌を歌いながら参集（3P）。普段は立ち入り禁止なので、許可をいただいで同行させてもらった。



4



R05-004



4Pは、御嶽へ上がる階段。階段を上ったところで、神司の代役を務める長老の方が出迎えて下さる。(5P上)。5P下はイビの前。6Pは、巻き踊りの様子。神事の後は、道歌を歌いながら芸能の行われるサンシキ広場へ(7P上)。イリとアガリの旗頭も会場に入る(7P下)。





8



R05-006

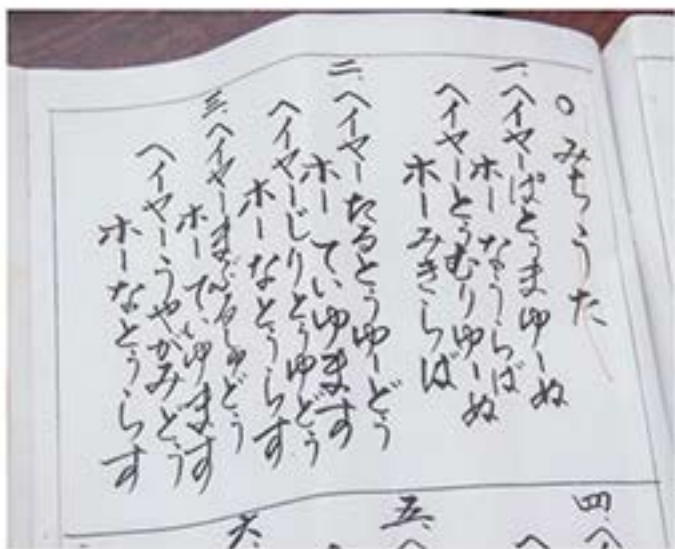


8Pは、ミルク行列の入場。黄色が多いミルクの衣装だが、鳩間島のミルクは鮮やかなブルーが特徴。ミルク行列の後、13時から15時半頃まで奉納芸能が行われた。9P上は、黄色の衣装を着た子孫繁栄の神が、クバ扇で子供たちの頭を撫でる、鳩間島独特の芸能・カムラーマ。



奉納芸能の後は、広場の裏手の浜でハーリー競漕。沖にある旗を回って折り返し、浜に着いたら岸壁に立て掛けられた梯子を上り、公民館の館長さんからお神酒をいただく。

競漕の後、漕ぎ手は船の周りで巻き踊りを奉納。巻き踊り奉納の後、旗頭が広場に戻った。



7月21日はムラプールで、綱引きが行われる。
サンシキ広場近くの公民館に行くと、旗頭の組み立て中だった。

しばらくすると村の長老の方々が道歌を歌いながら公民館へ。公民館長さんが出迎え、庭にゴザを敷いて神酒を呑みながらの歌が始まった (15P)。

40分程酒宴を行った後に、館長さん以外の一行は公民館を出て、道歌を歌いながら集落の中をぐるっとまわり、サンシキ広場へ (16P上)。広場で館長さんが、再び一行を出迎える (16P下)。



鳩間島でも、綱引きの前にアガリとイリのガーエーがある。長刀を持った女性たちが、自分たちの側には「灯台がある」「学校がある」といった自慢を大声で競う。ガーエーの後、支度の男性が綱の中央でお互いの供え物を交換し、綱引きが始まった。







18-19Pは、勇壮な衣装を身に着けたアガリとイリの支度によるガーエー。20Pは、綱引きの様子。21P上は、綱引きの後の旗頭演舞。21P下は、公民館の館長さんの挨拶。豊年祭の行事が終わると、港では歌と踊りで帰る人のお見送りが行なわれる (22P)。



【石垣島・白保の豊年祭】 2013年7月24日
撮影

豊年祭2日目のムラブール。豊年祭は飾場御嶽の前で17時から始まると聞いていたが、16時過ぎから神司の方々が集まって来られたので、撮影のお願いをする。これから御嶽の前にある真謝井戸でニガイ (御願) をするというので同行させていただいた (23P)。真謝井戸の後、御嶽の中の拝所をまわってニガイを行う (24P)。御嶽での神事が済んで、豊年祭の奉納芸能が始まった。







25Pは、旗頭の奉納。26-27Pは、ミルク行列でミルクの袖を持って歩く女の子。28Pは、御嶽の前でミルク行列を出迎える神司。29-30Pは、白保集落独自の芸能で、アブシバライからヘリによる害虫駆除まで稲作の過程をコミカルに演出したパレード「稲の一生」。



パレードの後は、御嶽の前に台に乗せられた
ビギリ（兄弟）神とブナリ（姉妹）神が登場し
「五穀の種子授けの儀」が行われた（31P）。

32-33Pは、豊年祭のクライマックスを飾る大
綱引き「シィナノミン」。綱引きの後、万歳三
唱が行われ、20時半過ぎに行事が終了した。





【竹富島の豊年祭】 2013年7月25日、26日撮影。

豊年祭は、旧暦6月第2壬と癸の2日間行われる。初日は6つの御嶽の氏子たちが中心となり豊穰に感謝するオンブイで、公民館の執行部や有志の方々が6つの御嶽をまわられる。その最初の参詣が、13時頃に玻座間御嶽で始まった。

34Pは、玻座間御嶽へ参詣に訪れた執行部の方々。35P上は、御嶽の前で出迎える氏子の方々。35P下は、氏子による歓待。





執行部の方々は45分ほどで次の御嶽へと向
 かわれた(36P)。神司と女性の氏子は御嶽の
 奥にあるウブ(イベ)に入り、男の氏子は豊年
 祭の道歌の練習をする(37P上)。豊年祭の道
 歌の歌詞(37P下)。38-39Pは、玻座間御嶽。
 中央奥が、ウブへの入口。



and more...